

議案No.	議案	結果
議案1	2023年度総会議長選任の件（西九州地方連合から）	承認
議案2	2022年度全国壮年会連合活動報告・決算報告・監査報告に関する件	承認
	1.2022年度全国壮年会連合活動報告 資料：2022年度神学校献金・会費実績一覧	
	2.2022年度全国壮年会連合一般会計決算報告	
	3.2022年度全国壮年会連合奨学金委員会活動報告	
	4.2022年度日本バプテスト連盟神学生奨学金会計収支報告 資料：日本バプテスト連盟神学生奨学金会計決算報告	
5.2022年度監査報告		
議案3	2024年度神学校献金（神学生奨学金献金）目標額設定案の件	承認
議案4	2023-2024年度全国壮年会連合活動計画案の件	承認
議案5	2023年度全国壮年会連合一般会計修正予算案 及び2024年度全国壮年会連合一般会計予算案の件	承認
議案6	2023-2024年度全国壮年会連合奨学金委員会活動計画案の件	承認
議案7	2023年度全国壮年会連合奨学金会計修正予算案 及び2024年度全国壮年会連合奨学金会計予算案の件	承認
議案8	2024-2025年度全国壮年会連合役員選挙の件	承認
	会長：高良研一	
	副会長：稲川仁	
	監査：堤秀幸	
議案9	2024-2025年度全国壮年会連合奨学金委員長選挙の件	承認
	委員長：北村愼二	
議案10	規約等改定の件 全国壮年会奨学金の給付及び貸与額等に関する細則改定の件	承認
議案11	第60回(2025年度)全国壮年大会担当地方連合の件（北関東地方連合）	承認
議案12	第59回(2024年度)総会議長の件（北関東地方連合から）	承認

定期総会事前説明会及び文書による総会へのご協力感谢您を感謝します。 事務局長 三室 日朗

今年の文書による定期総会は、昨年までとは異なり定期総会に於ける議案の事前説明会を6月に開催し、議案に対する説明・質疑を通して、より深く壮年会連合が目指しているものについて理解して頂いた上での総会とすることができました。

定期総会や壮年大会に出たくても遠距離にある教会からは時間的にも費用的にも参加することが難しいと、これまで総会や大会参加を渋っておられた方々もオンラインでの参加が可能になり、役員会と直接意見を交換頂けたことは、壮年会連合を身近に感じて頂くいい機会になったものと感じています。

初めての事前説明会の開催でもあり、開催時期のこと、文書による総会へと続く手順のことなど、検討の余地を残してはいますが、この総会の形が今後定着していければと願っています。

定期総会への代議員登録数は205名、総会審議に参加された方は172名でした。

なお、総会に提出した議案すべてを賛成多数で承認を頂きました。ご協力を心から感謝します。承認された主なものを以下に示します。

- ・2024年度神学校献金目標額は、引き続き2,500万円といたします。
- ・次年度（2024年度）の壮年大会は、西九州地方連合が担当します。
- ・2025年度の壮年大会につきましては北関東地方連合に担当して頂きます。



日本バプテスト連盟全国壮年会連合
〒336-0017 さいたま市南区南浦和1-2-4

事務局執務：月、水、金 10:00～16:00 ☎・fax:048-886-7533 http://www.sonen.net sonen@bapren.jp

全国壮年会連合 NEWS

第128号
2023/10/20
発行

日本バプテスト連盟
全国壮年会連合
発行人：山田誠一
編集人：三室日朗
Topics Password ▶ sorengo

神学校献金(神学生奨学金献金) 振替00150-7-669605 日本バプテスト連盟全国壮年会連合事務局

「新しいチャレンジを共に」 東京バプテスト神学校校長 藤井秀一（花小金井リサ教会）



全国壮年会連合の呼びかけに回答して、諸教会が進めている「神学校献金」を通じて、神学生の学びや生活、さらに各神学校の活動が支えられていますことに、心より感謝申し上げます。

このたび、東京バプテスト神学校（以下「東バプ」）の校長として、全国の壮年の方々に期待することや、伝道者養成に関わる意見を求められる機会を得て感謝しております。短く私の考えをお伝えさせていただきます。

「東バプ」は2023年度から校長、教務主任、学生主任の3名が新任となりました。新人スタッフとしてスタートは手探りでしたが、神学校への熱意と期待を共有するチームとして、諸課題に対し、新たなチャレンジをしていく所存です。

今、神学校が抱える最大の課題は学生数の減少です。かつて60名以上の在籍があったと聞きましたが、今は在校生は22名。今年度は本科に1名、信徒リーダーコースに1名が新入生として入学し、教会音楽科は0名でした。また来年、専攻科から5名が卒業予定で、在校生はさらに減少します。

この状況から思うことは、今、働き人を神学校へと送り出す教会が疲弊しており、教会現場の活性化に対する支援の役割も、神学校に期待されているのではないかとことです。

そこで、「東バプ」では数年前から、個人だけでなく教会単位の学びと交流の場として「公開講座」を開催してきました。この「公開講座」による、教会の内外からの信仰の友との、出会いと学びあいは、少なからず教会現場の活性化に役立っていると実感しています。

そこで壮年の皆様をお願いしたいことは、是非とも神学校の講義を、一科目でも受講していただきたいと思います。現在、神学校の全講義は聴講可能であり、ZOOMのライブ授業とビデオ受講の組み合わせにより、「いつでも、どこでも、誰でも」受講できるようになっています。全国の壮年の方々が神学校で出会い、学び、交流する新しいムーブメントにより、この閉塞感に満ちた時代にあって、「伝道者養成」の新しい可能性に向けて、共にチャレンジしたいと願っています。

「神学生の証」

西南学院大学神学部選科生 石原 誠（推薦教会：常盤台教会）



私は今年度、神学部神学科選科1年として西南学院大学神学部に入學いたしました。周囲の人からは「なぜ西南なのですか？」と、よく尋ねられる事があります。私としては、祈りつつ示されたのが西南であったという事なのですが、もう少し具体的な返答としては、私自身クリスチャンになったのが三十過ぎになってからで、三十年間どっぴりと『この世』の空気を吸って、罪意識もないままに『肉の思い』を中心にした人生を歩んできました。そしてクリスチャンになってからも、そこから大きく変わったかと言うとそうでもありません。

そんな私に神さまは、献身の思いと共に、神の武器を身に着けなさい、と示されたのです。そして私は「今以上に濃密に主なる神さまとの関係を築かなければならない。」と思わされるようになりました。それに対する従順な回答の結果が、西南神学部の入學だったのです。

実際は、不安も多くありました。最終学歴が高卒で、妻と二人の子どもがいる私にとって、家族を置いて単身で神学寮生活をして大学で学ぶという事は、私だけでなく家族にとっても大きな試練です。しかし主はその道を祝福し、恵みへと変えてくださいました。私たちはその事を実感しております。これは本当に言い尽くせない多くの方々の祈りとお支えによるものだと、心から感謝しております。

そして数十年ぶりの学校での学びについても、当初は不安が大きかったのですが、学ぶにつれて私の中の世界観が広がっていくのを感じ、その恵みへの感謝と主への期待とで、喜びへと変えられているのです。

神学部での学びは、少なくとも後2年続きますが、その中でさらに吸収し、深めていき、自分自身を見つめ祈りながら、主から与えられた賜物を活かしつつ、み心にかなう牧者を目指し、邁進したいと願っています。

「全国壮年大会 in 東京を終えて」 第58回全国壮年大会実行委員長 坂口 昌彦（目白ヶ丘教会）



全国壮年会連合の皆様、この2年間、東京地方壮年連合が実行委員会を組織して準備のお手伝いを致して参りました、第58回全国壮年大会in東京が8月25日・26日に開催され、成功裡に終了致しましたことをご報告申し上げます。

などご奉仕下さって方々の陰のお力で出来たと言っても過言ではありません。

特筆すべき事として分団を開催致しました事、当日夕刻に懇親会を開催致したことです。

分団は、対面分団11クラス、オンラインによる8クラスとなり、各クラスとも教会が元気になる為には各教会は如何にすべきか、今各教会が抱える現状と課題として高齢化や壮年層の減少等が話題となり熱く話し合われました。

懇親会も参加者約70名の歓談の中に、司会者お二人の余裕とウイットに富んだ進行のお陰で滞りなく進み、有志により結成された男性合唱団も練習成果を披露され、本当に楽しく無事に終えることが出来ました。

今回は何よりもコロナ禍に打ち勝った開催が成功の要因でしょう。これもひとえに主の御護りの何物でもありませんが、お祈りとお支え戴きました東京地方壮年連合の皆様、ご指導くださった全国壮年会連合役員の皆様のお陰です。

主にご参加の皆様、会を支えて頂きました方々に感謝を致す次第です。

コロナ禍完全消滅とは言えぬ中、4年ぶりの対面での大会も対面参加者や懇親会参加者の中に於ける集団コロナ感染発症も無く無事に終了致しました。大会をお導き下さった主には元より、会場参加の約100名の皆様とご多忙と遠隔地の為オンライン参加の約130名の全ての参加の皆様、そして会場を快くご提供下さいました大井バプテスト教会に深い感謝の意を表します。

主題講演の濱野 道雄先生、開会礼拝説教の吉田真司牧師、派遣礼拝説教の藤井 秀一牧師方にご準備から当日までお忙しい中で御奉仕下さり厚く御礼申し上げます。また、礼拝音楽アドバイザー山中 臨在牧師の御指導の下、会堂音響の良さも加わり、礼拝での奏楽や讃美は素晴らしいものとなりました。さらに会場では、撮影や放送などの技術面、事務的サポート

「第59回全国壮年大会に向けて」 実行委員長 野中 滋生（相浦光教会）



第58回全国壮年大会（東京）が無事盛会のうちに終了し、2024年度第59回全国壮年大会は、西九州地方連合が担当して開催されます。大会概要をお知らせいたしますので、祈りとともに大会準備を支えていただければ感謝です。

- 日時：2024年8月24日（土） 9時30分～16時30分
- 開催方式：オンライン（Zoom）
- テーマ：「協力伝道」
- 聖書箇所：ルカによる福音書24章32節
- 事例発表・質疑応答

○事例発表1 「連合と五島教会との交流の歩み（仮）」

長崎県の離島「五島列島」にある、唯一のプロテスタント教会「五島キリスト教会」と西九州地方連合の協力伝道の歩みを紹介。

○事例発表2 「連合内献身者の働き（仮）」

現在の西九州地方連合内における九州バプテスト神学校の出身者、あるいは在学生の働きなどを紹介。

来年の西九州大会の特徴は、「自分たちで発表内容を作り上げ、自分たちでそれを発信する」という、「事例発表」を中心とした手作りの大会となります。

日本の最西端に位置する佐賀県、長崎県内の12教会、1伝道所で構成された西九州地方連合から、「教会相互の交わり」を重視した小さな取組の紹介をとおして、「協力伝道」の実際を共有できれば、そして、地方連合が担う「協力伝道」の一つの姿として、全国諸教会・伝道所の励ましになればと願っています。

壮年の皆様だけではなく、ぜひ、たくさんの方々に参加していただきたいです。

「これからの伝道者養成検討」の現状と今後について 副会長 豊永義典

○役員会は「これからの連盟検討委員会」のもとに設置された「これからの伝道者養成」を検討する委員会のメンバーとして2021年半ばから約1年半協議を続けてきた。昨年度の壮年大会では、その時点までに連盟理事会とともに検討・協議を進めてきた内容と課題を報告し、協議の場を持った。その詳細は昨年度の壮年大会の報告書に示したが、報告のなかで奨学金会計の課題について次のコメントをした。

- 奨学金会計には「基本金」が設定されており、その金額は約2億円だが、この金額の根拠となる文書等は残されておらず、理由が明確でない。今後もこの金額を維持していく必要があるか検討が必要。
- 現基本金をベースにした会計の剰余金は約4千万円（@2021年3月）と大きくない。

○昨年（2023年）の壮年大会以降、役員会は「伝道者養成検討委員会」および連盟理事会との「二者協議」の場で課題の検討に加わってきた。この両者で進められてきた内容は以下の通りである。

- 二者協議では、「基本金」の定義を新しく設定し、本年6月の理事会に提案し、承認された。「基本金は、奨学金制度を継続的に安定的に運営するために積み立てられた必要な資金である。」
- 理事会は壮年会連合に対し、この定義に基づいて新しい基本金額を提案すること、併せて、今後想定される連立等神学等への支援を行なった場合、会計の健全性は維持できるかの検討を要請した。
- 一方、伝道者養成検討委員会は、本年2月の連盟総会で承認された「伝道者養成に関する基本理念（2023年）」に基づく具体的なアクションを起こすために、「アクションプラン」と「財務計画」のとりまとめを主要な課題として協議を進めてきた。この協議には、上記の二者協議の内容も随時共有され、プランの中に反映されている。9月5日の委員会で最終案がまとめられ、10月の理事会に提案される。

○前項の協議で得られた結論のポイントは以下の通りである。

- アクションプランの推進の重点として6項目が盛り込まれた。
 - a) 「伝道者養成に関する委員会」（特別委員会）の設置
 - ・壮年会連合推薦のメンバーもこれに参画し、ともに伝道者養成に関する働きを担う。
 - b) 諸教会の意識改革、研修運動の推進
 - c) 「信徒一人ひとりの献身」の深まりから「教役者の働きを担う献身」へ
 - ・諸教会において、教会を担い、伝道する「信徒一人ひとりの献身」が深められ、学びと祈りの中で「教役者を担う献身」が起こされていく、「献身の連続性」を大切に考える。
 - d) 三つの神学校と宣教研究所の連携
 - e) 「兼業牧師」を支える仕組み
 - f) 三バプテストの連携（日本バプテスト連盟、沖縄バプテスト連盟、日本バプテスト同盟）の連携
- 壮年会連合は、新基本金として1億5千万円を提案する。これをベースに各神学校から出された今後の神学生数の期待値で算出した奨学金会計のシミュレーションでは、会計の健全性は維持される。

○今後の予定

- 「アクションプラン」と「財務計画」が連盟総会議案として理事会承認された時点で、理事会より壮年会連合に対して、「連立等神学校への支援の具体案」などの要請がなされる。
- 壮年会連合は2024年度の定期総会に、上記の要請に対応するため、本件に関する規程等の改定案を提案し、承認を得る。
- 連盟理事会と壮年会連合は、本件に関する協議の経過と合意事項を「覚書」にまとめる。

事務局からのお詫び（口座番号の訂正）

誤記：郵便振替 0015-7-669605
正記：郵便振替 00150-7-669605